



二中生 大活躍中！

ついこの間まで、汗をかくような日が続いていましたが、11月の声を聞くと同時に、朝夕の冷え込みがめっきり厳しくなってきました。日中の陽ざしも弱まってきて、例年よりも寒さの厳しい冬の到来を予感しています。

学校では文化祭終了後、小学生の中学校見学や三者面談等の行事の多い毎日が続いていますが、そんな中でも週末には毎週のように各種大会等があり、東北女子駅伝5位入賞を始めとして、文武両面においてすばらしい活躍をしています。

寒さに向かう季節となりますが、寒さに負けない生活を送りたいものです。

三者相談お世話になりました！

10月31日（月）から2週間に渡って行われた三者相談では、たいへんお世話になりました。

3年生にとっては、進路に関する話し合いが中心となり、目標を目指す心構えもできたのではないかと思います。これからの2、3ヶ月が勝負となることを肝に銘じて頑張ってもらいたいと思います。

1、2年生にとっては、学習や生活についての話し合いがされ、学習への取り組みや生活の様子にいい変化が見られる生徒が増えました。今後ますますの活躍に期待しています。

東北駅伝大会女子5位入賞！

4日（金）5日（土）の2日間、宮城県利府町のひとめぼれスタジアム宮城において、第26回東北中学校女子駅伝競走大会が開催されました。本校は県の代表として出場し、見事に5位に入賞することができました。前半は中位集団につけていましたが、徐々に順位を上げ5位入賞につなげました。東北大会というレベルの高い中、全員がほぼ自己ベストの走りをし、全員の力での見事な入賞でした。また、5区（アンカー）の名越美帆さんが、区間2位という勝負強い走りをしました。

これまでの活躍に大きな拍手を送りたいと思います。



これまでの活躍に大きな拍手を送りたいと思います。

これまでの活躍に大きな拍手を送りたいと思います。

《二中生の活躍》

- 中学生人権作文県大会
最優秀賞・福島地方法務局長賞
須田日菜子（1年）※仲々難か
- 東北中学校女子駅伝競走大会
5位
- 福島県中学校新人ソフトボール大会
3位
- 福島県中学生新人バドミントン大会
好シングルス 5位 上田 彩乃（東郷場）
- 福島県中学校ソフトテニス新人大会
好個人 5位 会田楓輝・橋本蒼弥
好個人 3位 柏原梨花・小林 愛
3位 鎌田美樹・永沼さくら
- Sリーグ須賀川・岩瀬ソフトテニス大会
男子1部 優勝 男子2部 優勝
女子1部 優勝 女子2部 2位
- 須賀川市民体育祭剣道大会
中学生新人 優勝 須田日菜子
2位 横田 寛人
3位 加藤 潤
3位 深谷 賢志
中学男子 優勝 箭内 俊祐
3位 高橋 紀翔
中学女子 優勝 黒津ひなた
2位 鈴木 禎乃
3位 山崎 里丘
3位 秋元 優香

松明が完成！

10月下旬から急ピッチで作製していた松明が完成しました。20年以上に渡って指導をいただいている伊藤克一様と3年生の有志66名が、三者相談中の放課後を利用して作製しました。

11日（金）の5校時に出発式を行った後、午後3時に会場に運搬し、PTA役員の皆様の協力を



得ながら設置する予定です。12日（土）に翠ヶ丘公園の五老山において、松明あかしが開催され、午後6時30分頃からの点火となります。



「名曲の花束」に共演！

4日（金）の午後6時から、須賀川市文化センターで開催された『名曲の花束』ソフィア・ゾリステン&リア・ペトロヴァのコンサートに、本校合唱部が共演しました。「庭の千草」「ふるさと」の2曲を、ブルガリアが世界に誇る名門合奏団とともに演奏し、拍手喝采を浴びました。素晴らしい経験になりました。



生徒会交歓会がありました！

8日（火）の午後に、中教研の教科外部会があり、岩瀬地区内の先生方が部会ごとに研究会をもちました。

天栄中で開催された特別活動部会では生徒会交歓会が行われ、各中学校の生徒会役員が自校の取り組みを発表し、意見を交換しました。本校からは、生徒会長の星智徳くん、副会長の奥山泰彦くん、事務局長の杉原愛さんの3名が参加し、活動の様子や成果を発表しました。実り多い交歓会となりました。



☆学校公開日☆

12日（土）は学校公開日となっています。多数の保護者の皆様の参観をお待ちしております。

●授業参観 1, 2校時

●教育講演会（10:45~12:20）

講師：あべ 美佳 様

「みんな 人生のシナリオライター」

●模擬店（12:30~13:45）

●松明あかし（17:30集合）

※生徒会役員・応援団が参加します。

須田さん 人権作文で中央審査へ！

全国中学生人権作文コンテスト

10月11日に福島地方法務局から発表された全国中学生人権作文コンテスト県大会において、本校1年の須田日菜子さんが、最優秀賞・福島地方法務局長賞を受賞しました。県内193校9683



点の中から最高賞の受賞となり、中央大会（全国）へ出品されることになりました。県大会の表彰式は、12月3日（土）に二本松市の県男女共生センターで開催される「人権のつどい」の中で行われます。

ソフトボール県3位に！

10月29日（土）30日（日）に開催された福島県中学校新人ソフトボール大会で、本校は県中地区の代表校として出場し3位に入賞しました。準決勝もとても惜しい試合でした。

こころの窓

生きていれば誰もが悩みをもち、苦しいことやつらいことを乗り越えています。逆に、楽しいことやうれしいこともたくさんあります。人間には思考する力があり、感情があるので当然のことなのです。いつも楽しいことばかりであればいいのですが、人は困難にあった時にどうするかで真価が問われます。都合の悪いことをすべて他人のせいにしては、解決策は出てこず、進歩は望めません。困難をステップにするくらいの前向きな考え方をもちたいものです。

機関誌「PHP」から的一篇を紹介いたします。

困っても困らない

広い世間である。長い人生である。その世間、その人生には、困難なこと、難儀なこと、苦しいこと、つらいこと、いろいろとある。程度の差こそあれ誰にでもある。自分だけではない。

そんな時にどう考えるか、どう処置するか、それによって、その人の幸不幸、飛躍か後退かが決まると言える。困ったことだ、どうしよう、どうしようもない、そう考え出せば、心が次第に狭くなり、せっかくの出る知恵も出なくなる。今まで楽々と考えておったことでも、それがなかなか思いつかなくなってくるのである。とどのつまりは、原因も責任もすべて他人に転嫁して、不満で心が暗くなり、不平でわが身を傷つける。

断じて行えば、鬼神でもこれを避けるという。困難を困難とせず、思いを新たに、決意をかたく歩めば、困難がかえって飛躍の土台石となるのである。要は考え方である。決意である。困っても困らないことである。

人間の心というものは、孫悟空の如意棒のように、誠に伸縮自在である。その自在の心で、困難なときにこそ、かえって自らの夢を開拓するという力強い道を歩みたい。